

文部科学大臣賞



森 大輝

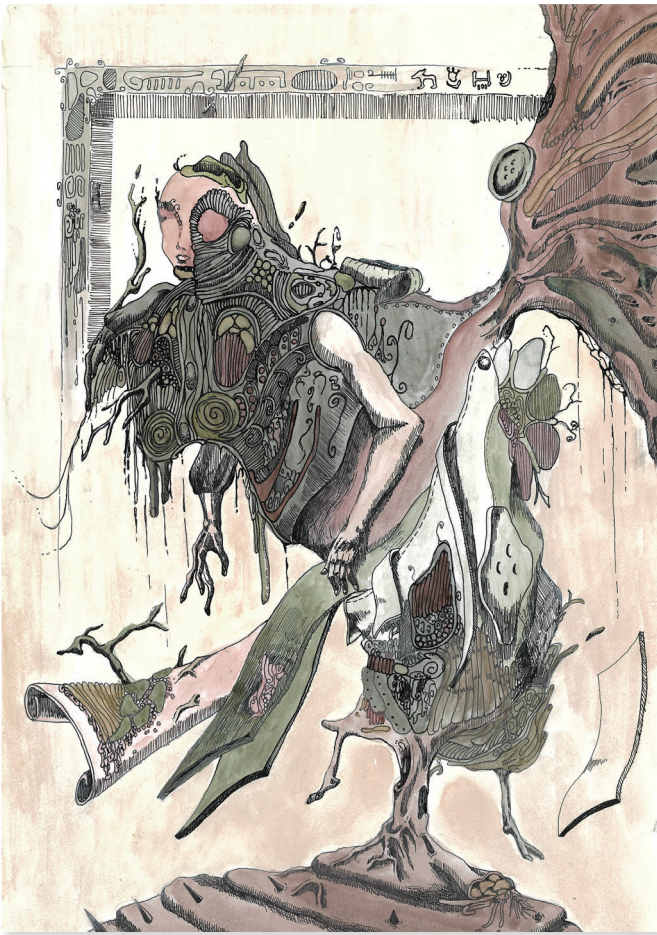
専門課程

香蘭ファッションデザイン専門学校
ファッションデザイン専攻科

この度、ファッションデザイン画コンテストでグランプリを受賞できたこと、大変光栄に思います。審査員の皆様、そして支えてくださったすべての方々に心から感謝申し上げます。デザインを通じて表現したいと感じていた思いが、このような形で評価していただけたことに深く感動しています。

デザイン画に関しては私の好きな服と絵の融合だと考えていてこれを軸に絵に注力しました。今回書いたデザイン画には初めてゼンタングル技法を試し、写実と組み合わせることで新しい表現に挑戦しました。

これから服と絵に関しては生涯続けていこうと思っています。今後も挑戦を続け、さらに成長できるよう努力してまいりますので、引き続き応援していただければ幸いです。本当にありがとうございます。



全国服飾学校ファッション画コンクール 大臣賞決まる!

第40回

経済産業大臣賞

福永 紗花

専門課程

マロニエファッションデザイン専門学校
ファッションクリエイション学科
オートクチュールデザインコース



今回受賞することができてとても嬉しく思います。私はこの作品を通じて、「破壊される世界の中でも失われない美しさ、生命の尊さを伝えることができたと思います。時の流れとともに鈍く、輝きを失っていく中で、花だけはありのままの姿で咲き続ける自然の生命力の美しさ」と少女の優さを無数の花で表現し、自然の美しいものはいつまでも輝き続けるということを表現しました。あえて、色を使わないモノクロに仕上げたことで線一本一本の繊細さと白黒でシンプルかつ存在

感のある作品にすることができました。体の部分の構造、模様、配置、デザインを特にこだわって描き上げたので、注目して見て頂きたいです。今後の目標は、イラストだけでなくファッションの面でも自分だけの世界観を表現していきたいです。そのために、デジタルツールや最新技術の取得にも挑戦し時代に合った表現方法、また環境に配慮したサステイナブルな服作りにも挑戦したいです。今回の受賞で自信にも繋がりましたし、これを励みにファッションをより追求していきたいです。



経済産業省
大臣官房商務・サービス審議官賞



専門課程

織田ファッション専門学校
ファッションデザイン専攻科
奥村 遥花



文部科学省
総合教育政策局長賞



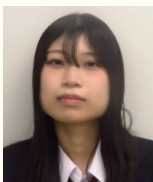
専門課程

文化服装学院
服飾専門課程II部服装科
増永 吉里



高等課程

鴻池学園高等専修学校
ファッション科
板谷 瑠羽菜



高等課程

安城生活福祉高等専修学校
ファッション・パティンエ科
ファッション専攻
岡本 みう



ごあいさつ



文部科学省 経済産
業省/全国のファッション
教育に携わる教育機
関におかれましては日
頃のご協力に心より感
謝申し上げます。

私たちが取りまく環境は自然界を含め、目まぐるしく変わり日々の日常生活に大きな影響をもたらしています。地球規模で、また産業規模で対応に迫られていると思います。

「一人」が安心して生活できることは、いかに当たり前ではないと痛感します。そのような中で「衣食住」の確保は必須です。「衣」におけるファッション業界は、常に変化し続けるダイナミックな分野で社会や文化に深く根差した重要な役割を持っています。サステイナビリティーやデジタル化、生成AI、多様性の尊重など新しい課題が次々に浮上り、これに対応するための教育の重要性が高まっていると感じます。予測不可能な時代において、学生一人一人が自らの可能性を最大限に発揮するとともに、多様な価値観を持つ人材が協働して社会と世界に貢献できるような場が必要で、「何を学び、身につけることができるのか」を学習者

本位の教育を更に発展させ、全ての学生が自分の個性を活かし創造性を思う存分に打ち出せるように、協会として実践的なスキルや最新トレンドに対するカリキュラムの開発などのサポートに努めて参りたいと思います。特に次世代のファッションリーダーを育成するためにも、業界との連携を強化し教育環境の整備の一助としてファッション検定の役目をさらに引き上げ、自信を持って業界に飛び込めるよう繋げたいです。

この度ファッション検定、認定試験におきまして、文部科学省の後援に続き、経済産業省からも後援の許可を頂戴することが出来ました。今まで70万人を越え全国の多くの学生の皆さんに受検していただきました。業界での活躍は、学んだ知識として教育界から発揮できる産業界に繋がり、背中を押してくださる大きな力となることを確信し、日々教育されている先生方へ改めて感謝申し上げます。また次年度よりファッション検定の各1級の成績優秀者に、文部科学省大臣賞の賞状授与も決定致しました。ファッション業界の検定としまして、2省から後援いただくのは初めてであり唯一無二の検定です。これからも私たちが日本ファッション教育振興協会は、業界を支えてくださる全ての方に貢献できるよう、精進してまいります。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

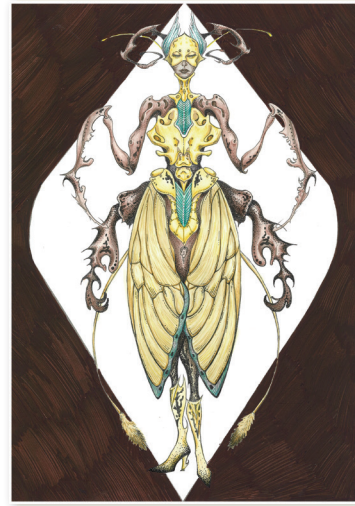
一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会 理事長賞



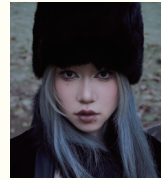
専門課程
大阪モード学園
ファッションデザイン学科
ブランドデザイナー専攻
寺尾 佳樹



一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 理事長賞



専門課程
文化服装学院
ファッション工科専門課程
アパレルデザイン科
ダラン



高等課程

清凌高等学校
生活デザインコース
川畑 里奈



高等課程

サンデザイン専門学校
ファッションクリエイティブ科
星野 雛李



全国服飾学校ファッション画コンクールについて

次の時代を担う、感性豊かな
ファッションクリエイター
育成のために

日本のファッション産業を魅力と活力ある産業にするためには、なによりも産業を支える有為な人材、これからの産業を担っていく様々な人材の育成が必要ですが、とりわけ国際的な競争力を持つ、魅力的なファッション商品の発想・開発ができるデザイナーやクリエイターなど、高い専門能力を持ったスペシャリストが待望されています。

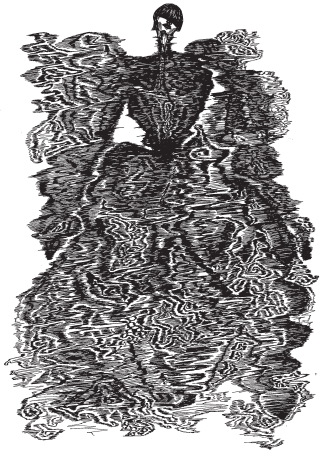
全国の服飾系学校の学生を対象とするこのコンクールは、こうした状況を勘案し、学生に目標を与え、ファッションにおける創造やデザイン能力向上を図るために、文部科学省、経済産業省、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団の後援を得て行っており、令和6年度で40回になります。

このコンクールへの応募基準は、専修学校の専門課程（高卒以上が入学）と高等課程（中卒以上が入学）の学生・生徒が、自ら発想・デザインしたもので、学内選考を経た未発表のオリジナル作品に限られます。応募点数は、都道府県官公庁に届出のファッション関連教育課程（各課程）の定員数を基準にし、100名未満を5点、100名以上250名未満を10点、250名以上500名未満を15点、500名以上1000名未満を20点、1000名以上を30点とし、今年度も多くの学校より優秀な作品が寄せられました。第一審査を経てテーマは「今私が着たい服」で、52校より405点の応募がありました。

文部科学大臣賞
経済産業大臣賞ほか授与

「最も優れた作品で、感性性の高いもの」に対し文部科学大臣賞、「最も優れた作品で、市場性の高いもの」に対して経済産業大臣賞が授与されます。これらに次ぐ優秀な作品には、文部科学省総合教育政策局長賞および経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞が授与されます。そのほか、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団理事長賞、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会理事長賞、一般財団法人日本ファッション教育振興協会理事長賞、全国服飾学校協会会長賞などが授与されます。

全国服飾学校協会
会長賞

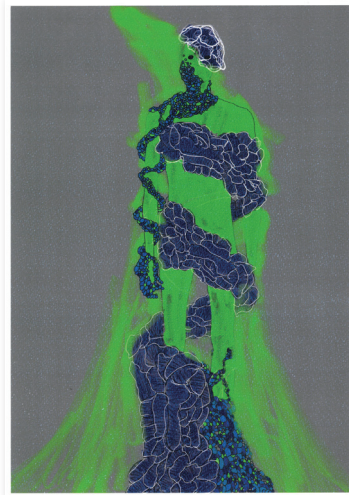


専門課程

国際トータルファッション専門学校
コスチュームデザイン科
齋藤 雪華



一般財団法人
日本ファッション教育振興協会 理事長賞



専門課程

織田ファッション専門学校
ファッションデザイン専攻科
齋藤 虎雅



高等課程

デザインテクノロジーロジック専門学校
ファッション科
鈴木 遥翔



高等課程

小井手ファッションビューティー専門学校
ファッションビジネス科
大瀨 幸希



専門課程

- 永沼 伸祥 東京モード学園
- 小林 美月 文化服装学院
- 小原 樹生 織田ファッション専門学校
- 水野 南 上田女子服飾専門学校
- 萩原 奈音 上田女子服飾専門学校
- 大島 深愛 神戸ファッション専門学校
- 徳山 日花里 岡山ファッションスクール
- 宮崎 日夏子 香蘭ファッションデザイン専門学校

高等課程

- 梶本 梨夏 鴻池学園高等専修学校
- 林 千寿 アンファッションカレッジ

優秀賞

2名

佳作入賞

10名



審査員の講評動画を協会HPで
公開しておりますのでご覧ください。

審査員 講評

未来を期待させる要素が選考の基準に

令和6年度の「ファッション画コンクール」において、全体的な印象として各作品の画力や表現力の高さに感動させられました。

「文部科学大臣賞」並びに「総合教育政策局長賞」として選ばれた作品は、描き込まれた作品のなかで感性や創造性の表現力、世界観に優れた作品として選考いたしました。文部科学大臣賞として選ばれた作品は、着眼点が面白く強烈な個性があり、コンセプトが未来的で人が着る服を描くことが多いなかで「人」ではないものに着装したコンセプトとバランス感覚が素晴らしく感じられました。また、作風も細かい描写がしっかりできており、生物をミリタリー色としているなかで、色のバランスにおいても高く評価できました。もちろん、学生が持つ「エネルギー」な部分も感じられ「ファッションII時代性」を反映した作品として上手く自分のものになっている点、また、世界観やデザイン力、発想力をしっかりと構築した存在感ある作品であるため文部科学大臣賞として選考いたしました。

ファッションにおいては、「イラストレーション」と実際に服を作る時の「デザイン画」は、一般的には異なった解釈がされていますが、学生たちの作品を見てきたなかで考え方を変えていくことの必要性もあるのかと考えさせられました。パターンナーに自身の世界観を伝える時に、ある程度デフォルメすることで伝えたいことが明確になることもあり、デザイン画を描くうえで作画技術も重要であると改めて感じる事ができました。

「経済産業大臣賞」並びに「大臣官房商務・サービス審議官賞」として選ばれた本作品は、一つ一つの線が非常に細かく丁寧に描かれており、拡大してみるとその緻密さに驚かされました。また、ポーズがいわゆる正面ではなく少し体を曲げた屈曲的な姿勢で描かれており独特の雰囲気を生み出しています。さらに上部にはホースのようなパーツが複雑に繋がれ近未来的な印象を与えています。



株式会社ヒロコソノ
代表取締役副社長
クリエイティブディレクター
小篠 ゆま氏



株式会社サポートサーフェス
代表兼デザイナー
研壁 宣男氏



東京ファッションデザイナー協議会
代表理事・議長
久保 雅裕氏



ファッションクリエイティブディレクター
兼 gumi-gumi代表取締役
軍地 彩弓氏



す。この要素により、「こんな時代になってはいけない」というメッセージ性を感じさせられる一方で、見る人の想像力を大いに刺激する作品となっています。これらの点から、本作品はその緻密な、ディテールと独創性を評価し選考いたしました。

令和6年度 服の日 記念行事

ファッション画コンクール表彰式・服飾教育功労者顕彰式



令和7年2月7日において、一般財団法人日本ファッション教育振興協会（弊協会）主催による「令和6年度 服の日記念行事」を開催いたしました。前半部をシンポジウム形式の講演会として、「これからの職業人材教育に求められる専修学校教育とは、-未来ある職業人材の育成について-」をテーマに産官学の立場、またグローバルな視点で開催しました。

少子化が進むなか、職業人材の育成は日本の将来を左右する重要な課題であり、専門学校はその役割を担う重要な機関を担っています。しかし、少子化による学生数の減少、社会の変化に対応する教育内容の更新（DX化）、そして継続的に質の高い教育を提供するための教員人材の確保など、多くの課題に対して率直なご意見、将来的なビジョンなど具体的な事例とともにお話を伺えましたことで、多数ご参加いただいた教職員の皆様にも充実した内容であったとの評価をいただくことができました。

後半部では、40回目を迎えた全国服飾学校「ファッション画コンクール」表彰式並びに「服飾教育功労者」顕彰式を執り行いました。



◆講演会◆

「これからの職業人材教育に求められる専修学校教育とは、 -未来ある職業人材の育成について-」

文部科学省 総合教育政策局 生涯学習推進課
専修学校教育振興室 室長

米原 泰裕氏

株式会社 TSIホールディングス
代表取締役社長

下地 毅氏

学校法人 上田学園 上田女子服飾専門学校
理事・校長

田島 等氏

東京ファッションデザイナー協議会
代表理事・議長

久保 雅裕氏

18歳人口の推移は、今後の高等教育機関や社会全体に大きな影響を与える重要な要素です。

「18歳人口減少の影響」

- ・大学、短期大学、専門学校などの高等教育機関では、学生の確保が困難。
- ・企業では、若手人材の採用が難しい。
- ・消費の減少や社会保障制度の維持など、経済・社会全体に影響が及ぶ。

「18歳人口減少への対策」

- ・大学、短期大学、専門学校などの高等教育機関では、教育内容の充実や魅力的な広報活動等、学生確保に向けた取り組みが必要。
- ・企業では、多様な人材の活用や生産性向上など、人材不足に対応するための対策が必要。
- ・国や自治体では、少子化対策や地方創生など、長期的な視点に立った対策が必要。

「職業人材の育成」

- ・専門学校は、社会のニーズに対応した実践的な職業教育を提供し、即戦力となる人材を育成する必要。
- ・産業構造の変化や技術革新に対応するため、教育内容を常に更新していくことが求められる。
- ・企業との連携を強化し、インターンシップや実務経験を積む機会を増やすことが重要。

「専門学校の課題」

- ・教員の質の確保と向上
- ・教育内容の充実と高度化
- ・設備の充実
- ・経営の安定化
- ・社会的な認知度の向上

「具体的な課題解決に向けた取り組み」

- ・魅力的な教育内容の開発
- ・企業との連携強化
- ・教育の質向上
- ・学生の経済的支援
- ・広報活動の強化

専門学校は、社会のニーズに応じた人材育成という重要な役割を担っています。課題を克服し、更なる発展を遂げることで、日本の未来を支える人材育成に貢献していくことが期待されています。



服飾教育顕彰 表彰

主催 一般財団法人日本ファッション教育振興協会 / 全国服飾学校協会
協力 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

日本ファッション教育振興協会は、ファッション教育の充実・向上・振興を図るために多くの方々にご協力をいただきながら様々な事業を推進していますが、その中で服飾学校教育の振興を通じて社会の進展に尽力した功績顕著な教育者を顕彰する制度があります。全国都道府県より候補者の推薦を受け、服飾教育顕彰選考委員会での審査の後、被受章者を決定し、毎年、服の日記念行事として顕彰式を開催しております。顕彰式では、長年にわたる服飾教育への貢献を称え、「服飾教育功労章」が授与されます。



この度は服飾教育顕彰功労章という輝かしい章を頂戴致しましたこと、大変光栄に存じます。教育現場に入り30数年従事出来たことは、一緒に教育業務を行なってきた教職員の皆様や協力頂いた産業界の皆様、服飾教育に貢献する機会を与えて頂いた日本ファッション



小倉展伸 先生
華服飾専門学校

ン教育振興協会様、そして仕事にやりがいを与えてくれた学生や卒業生の皆様のおかげと深く感謝しております。自身のキャリアを思い起こすと立場や環境が変わることで様々な学びをさせて頂きました。教育現場の責任者となった時期には、改めてファッション業界に向けた職業教育の内容と学生指導について考え、自分自身が鍛えられる機会となり、今の自分の基礎となっています。社会が変わり世の中の価値観も変化していくでしょうが、自身の培った事を土台にして変化と調和できるファッション教育に邁進することで、今後も教育業界に貢献していきたいと存じます。この度は誠に有難うございました。

社会が変化するなかで、
自分の培ったことを土台に
邁進していく

このたびは、服飾教育功労賞という大変名誉ある賞をいただき、深く感謝申し上げます。服飾教育に携わる者として、このような名譽ある賞をいただけたことは、私にとって大変光栄であり、また、これまでの努力が認められたことを嬉しく思います。



忠政晴美 先生
文化服装学院

私の一番の教育活動は、常に学生たちの成長と創造性を引き出すことを目指しております。そのためには、時代の変化に伴うファッション分野の情報収集、専門分野の研究と、自らの考えもフレキシブルに対応できるように努めて参りました。多くの学生たちが自分のスタイルを見つけ、夢を追いかける姿を見るのが、最大の喜びです。この受賞は、一人の力では成し得なかつたものであり、支えてくださった同僚や学生たちに感謝の気持ちを伝えたいと思います。今後も、服飾教育の発展に寄与し、未来のファッション業界の発展に微力ながら貢献してまいります。改めて、心からの感謝を申し上げます。

学生たちの
夢を追いかける姿を見るのが
最大の喜び

わたしは
ファッションで
生きていく

Fashion Designer
Pattern Maker
Textile Designer
Stylist
Visual Merchandiser
Fashion Buyer
Retail Merchandiser
Brand Manager
Fashion Photographer
Model
Fashion Illustrator
Creative Director
Fashion Journalist
Trend Forecaster
Fashion Editor
Costume Designer
Technical Designer
Garment Technologist
Fashion PR Specialist
Sustainable Fashion Consultant
Fashion Marketing Specialist
Social Media Manager
Footwear Designer
Accessories Designer
Fashion Show Producer
Fashion Consultant
Fabric Researcher
E-commerce Manager
Sales Representative
Product Developer
Luxury Goods Manager
Supply Chain Coordinator
Boutique Owner
Alterations Specialist
Tailor
Personal Shopper
Apparel Engineer

主催 日本ファッション教育振興協会

後援



文部科学省



経済産業省

全国服飾学校協会 | 一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会

1993年より70万人以上が挑戦した、唯一無二のステータスアップ
ファッション検定 2025

業界での信頼が深まる、4つの確かなスキルの証

パターンメイキング技術

1級 東京8月、大阪9月
2級 筆記7月、実技9月
3級 11月実施

ファッションビジネス能力

1級 2026年1月実施
2.3級 前期7月、後期11月実施

ファッション販売能力

1級 2026年2月実施
2.3級 前期7月、後期12月実施

ファッション色彩能力

1級 2026年1月実施
2.3級 2026年1月実施

成績優秀者の表彰

ファッション検定では各検定において優秀な成績を修めた受験合格者を表彰する制度があります。
1級でもっとも優秀な成績取得者に対しては文部科学大臣賞を、2・3級でもっとも優秀な成績取得者に対しては日本ファッション教育振興協会より賞をもうけて、各々賞状を授与します。

日本ファッション教育振興協会
Web Site 受験案内



AND MORE, FOR FASHION SPECIALIST IN THE FUTURE

公式オンラインショップ

<https://fashionedu.base.shop>

全国の書店でもご注文承ります

但し、ISBNコードがあるもののみご注文いただけます。取次なしの書籍は、公式オンラインショップをご利用ください。

出版社名：一般財団法人日本ファッション教育振興協会



ファッション教育2025

令和6年3月20日発行

発行人 榊下町 慶子

発行所 一般財団法人日本ファッション教育振興協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-14-3 紫苑学生会館2階

TEL 03-6300-0263 FAX 03-6383-4018

<https://www.fashion-edu.jp>

(無断転載を禁じます)

